

癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫：MM11

癌種 再発・難治性多発性骨髄腫

レジメン名 MM11 エルラナタマブ

薬品名 (商品名)	一般名	標準投与量	投与経路	投与日	1コース期間
エルレフィオ	エルラナタマブ	1回目 12mg	皮下注	1コース目DAY1,4,8,15,22	28日間
		2回目 32mg		2-6コース目DAY1,8,15,22	
		3回目以降 76mg		7コース目以降DAY1,15	

エルレフィオ mg / 皮下注

調製後4時間以内に投与

<備考>

- ① 投与1時間前までにアセトアミノフェン600mg、レスタミン50mg、デカドロン20mg内服（1コース目DAY1,4,8は必須 以降はオプション）
- ② 免疫調節薬、プロテアソーム阻害薬および抗CD38モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも3つの標準的な治療が無効または治療後再発の患者に適応
- ③ CRS、ICANSのモニタリングのため、DAY1, 4は入院管理
- ④ CRSの際はトシリズマブ（8mg/kg）の投与を検討
- ⑤ 休薬期間により投与量をステップアップ用量へ戻す（別紙参照）

<休薬基準>

好中球<1500、Hb<8.0、PLT<50000、FN、CRS、ICANS、低γグロブリン血症、ILD